



おにぎり通信

2016年4月30日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座、日比谷公園、東京駅

周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

先日、市民団体が路上生活者の調査を新宿区・渋谷区・豊島区で実施しましたが、3つの区で671名の方が確認され、前年の同じ時期に東京都が行った路上生活者概数調査の206人の3倍以上という結果になりました。

東京都の調査した数が非常に少なかったのは、市民団体の調査が夜中であったのに対して、東京都の調査は、昼間に行われ、十分に実態が掴めなかったためと見られます。東京都は、自身の調査を元に、路上生活者の数は大きく減少しており、これまで取り組んできた、自立支援センターをはじめとする路上生活者対策の効果が出ていると、自己評価しています。その基礎となる調査を、今回、市民団体が行ったような、より実態がきちんと把握できるものに改善できれば、ますます効果的な対策をとれるようになるのではないかと思います。

☆4月18日(月) 福祉行動報告

Aさん(40代) 受診のため、三井記念病院に行かれました。

Bさん(40代) 生活保護を申請、さくらハウスに入寮されました。

次回の福祉行動:5月2日(月)

東京駅丸の内北口地下に朝8時30分までに集合してください。

喫煙横、コンビニの並びの赤富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてください。病気やケガの治療を希望される方や体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」まで同行します。福祉行動は原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は、参加される方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることで成り立ちます。

最寄の福祉事務所と生活相談室

中央区福祉事務所...中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所...千代田区九段南1-2-1 3階

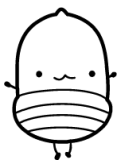
聖イグナチオ生活相談室...千代田区麴町6-5-1

【食中毒の予防】

暖かいというより暑い日が増えてきましたが、こうした陽気で多くなるのが食中毒です。昨年、東京都で発生した食中毒で、最も患者数が多かったのは主に冬の時期に発生するノロウイルスですが、2番目と3番目に多かったのが、5月頃から発生数が増えるカンピロバクターとサルモネラです。

カンピロバクターは、家畜、家禽、ペット、野生動物、野鳥等あらゆる動物に分布し、特に、牛と鶏に多く見られます。ヒトに感染すると、発熱や腹痛、下痢などを発生させます。カンピロバクターによる食中毒の原因としては、加熱が十分ではない鶏や、牛の生レバーを食べることが挙げられます。因みに、数年前からお店で牛の生レバーを出すことが禁止されていますが、これはカンピロバクターのせいではなく、発生件数は少ないもののより危険性が高い、O157などの腸管出血性大腸菌によるものです。また、火の通っていない肉を食べなくても、生肉を触った手を洗わずに別のものを料理したり、生肉を入れたお皿に別のものを入れたりして、それが加熱殺菌されずに口に入ることによって、カンピロバクターに感染する可能性が出るので、注意が必要です。

サルモネラは、鶏、豚、牛などの動物の腸や、河川など、自然界に広くいる細菌です。感染すると、腹痛や下痢、発熱などを発生させます。生の肉に気を付けないといけなはカンピロバクターと同じですが、サルモネラは、生卵、特に冷蔵庫に保存されていない卵による感染が多いのが特徴です。さらに避けないといけなは、卵を溶いた状態で置いておく割り置きです。卵の黄身は膜で覆われていて、そのままの状態だとサルモネラはあまり増えないのですが、黄身が割られて溶き卵になると、たとえ冷蔵庫に入れていてもサルモネラは急速に増えます。生卵だけでなく、半熟の状態を残すかつ丼や親子丼なども、時間が経ったものは要注意です。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いします。

よつや なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535